

項番	会議	分類	ご指摘事項	回答
1	第一回検討会	全般	今回の実証の成果を効果的に周知する方法やタイミングを考え、民間企業の活力が出るような広報を実施すべき。	(第二回報告) 今回の実証の成果については、マスコミ取材対応、WEBサイトでの周知などを行っていく予定 (今回報告) 2/4に報道機関向け説明会を実施した。3/11には成果報告会を実施した。
2	第一回検討会	アイデアソン・ハッカソン	アイデアソン、ハッカソンについても幅広く人を集めれば、作成したアプリケーションを来場者に見てもらいと、来場者と作成者として事業化することも十分あり得るので、そういう機会を作ってほしい。	(第二回報告) アイデアソン・ハッカソンの結果については、WEBサイト等で広く周知する。ハッカソンでの成果について審査会の実施を予定しており、来場者を募る予定。 (今回報告) 国交省HP、実証実験事務局HP、twitterでの周知を実施し、アイデアソン59名、ハッカソン34名に参加頂いた。3/11には成果報告会の場でプレゼンを実施してもらった。
3	第一回検討会	中間団体	中間団体のありかたを考慮した検討が必要。 公的側面が強い場合： オープンデータ化を目指す色が濃くなり、基準や規格を決めることや公開のためのインセンティブ・制度が必要。 ビジネス的側面が強い場合： 屋内地図の収益で地図を整備していくならば、民間企業が競争的に参入した方が良い。	(第二回報告) 提供する地図および提供先主体などに応じて有償または無償での提供を行うことを想定して中間団体のありかたを検討しています。 【資料 推進検討ワーキンググループ検討状況報告 5ページ「4. 施設管理者と中間団体の関係性の検討・整理②」】 (今回報告) 本日、「推進検討WG検討結果報告」にてご報告。
4	第一回検討会	中間団体	中間団体の業務のレベルをどこまでとするのか議論が必要。 公共的な空間の図面を集めた後の業務として ・マージして地図を販売する ・収集したものをそのまま販売する ・紙資料をデジタル化して販売する	(第二回報告) 地図調整業者およびサービサーがサービスを展開しやすく、屋内地図を利用した市場を拡大させることを目指して、競争領域を残した協調領域の屋内地図として各種素材からマージしたデータを販売することを想定しています。 (今回報告) 本日、「推進検討WG検討結果報告」にてご報告。
5	第二回検討会	アイデアソン・ハッカソン	ハッカソンの参加者に対し測位機器等のテクニカルな情報を事前に提供することが必要。	ハッカソン実施前に、プレハッカソンを開催。提供リソースの説明や提供APIのデモを実施した。 ハッカソン当日は、「データお助け隊」「アプリお助け隊」が参加者の技術支援を行った。
6	第二回検討会	アイデアソン・ハッカソン	アイデアソンでは斬新な視点を入れる必要がある。	一般公募により異業種の方に参加していただき、横断的な観点からアイデアを創出していく予定です。

項番	会議	分類	ご指摘事項	回答
7	第二回検討会	アプリの評価項目	実証実験の評価の観点では、利便性を評価基準として、なんとなく利便性がよかったという項目以外の評価項目を設けるべき。	「地図の分かりやすさ」「現在位置表示の正確さ」「アプリの使い勝手」などの観点にてアンケート評価を実施しました。
8	第二回検討会	中間団体	国内の屋内地図データの受入口を中間団体に一本化するやり方等、中間団体の運営が成り立つビジネスモデルを考えるべき。(国交省の監督下で、施設管理者から受領したデータから秘密情報を消去した地図データを販売する等)	本日、「推進検討WG検討結果報告」にてご報告。